

令和 5 年度（令和 4 年度事業対象）

大洗町の教育に関する事務管理及び 執行状況の点検・評価報告書

大洗町教育委員会

— 目 次 —

第1 点検・評価の概要	1
1. 趣旨	
2. 点検・評価の対象	
3. 点検・評価の方法	
4. 大洗町教育委員会評価委員名簿	
5. 評価委員会実施日	
第2 教育委員会の活動状況	3
1. 大洗町教育委員会について	
2. 教育委員会会議の開催状況について	
3. 令和4年度教育委員会の予算・決算状況について	
4. 主な教育委員会の活動状況について	
第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート	14
1. 豊かな人間性をつちかう教育の推進 (No.1～3)	
2. 確かな学力の習得と活用する力の育成 (No.4)	
3. 健康な心と体を育てる教育の推進 (No.5～6)	
4. 学校・家庭・地域の連携 (No.7～9)	
5. 社会の変化に対応した教育の充実 (No.10～11)	
6. 安心して学べる質の高い教育環境づくり (No.12～13)	
第4 評価委員からの総合評価・意見	41

第1 点検・評価の概要

1. 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。)により、すべての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。

本報告書は、地教行法第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民への説明責任を果たすため、令和4年度における大洗町教育委員会の事務事業の点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象

大洗町教育振興基本計画に基づき、令和4年度に実施した教育委員会の活動の状況及び主要施策とします。

3. 点検・評価の方法

大洗町教育委員会の主要施策について、事務事業ごとに自己評価を行ったうえ評価シートを作成し、大洗町教育委員会評価委員より評価シートをもとに意見・助言をいただきました。

4. 大洗町教育委員会評価委員名簿

任期:令和5年4月1日～令和6年3月31日

氏 名	役 職 等
生 越 達	茨城大学 教授
加 茂 川 くるみ	茨城女子短期大学 准教授

※敬称略

大洗町教育委員会評価委員規則

(設置)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、大洗町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うに当たって、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、大洗町教育委員会評価委員（以下「委員」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 委員は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について意見を述べ、又は助言を行うこと。
- (2)前号に掲げるもののほか、必要と認める事項

(定数等)

第3条 委員の定数は、2人以内とする。

- 2 委員は、教育に関し学識経験を有する者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、1年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(補則)

第5条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

5. 評価委員会実施日

令和5年10月19日(木)

第2 教育委員会の活動状況

1. 大洗町教育委員会について

大洗町教育委員会は、(地教行法第4条第1項・第2項により) 町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4名の委員をもって組織されています。また、(地教行法第4条第5項により)委員には保護者が含まれるようにしています。

平成27年度から地教行法の改正により、教育委員会を代表する教育委員長と事務局を統括する教育長が一本化されました。よって、教育長が、教育委員会会議の主宰や事務の執行、事務局の指揮監督など、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表することとなります。

令和4年度 大洗町教育委員会

職 名	氏 名	就 任 日
教 育 長	長 谷 川 馨	令和 3年 4月 1日就任
委 員	岡 部 千 草	平成29年10月1日就任 令和 3年 4月 1日 教育長職務代理者就任
委 員	伊 藤 雅 彦	平成26年10月 1日就任
委 員	小野瀬 繁子	令和 3年 4月 1日就任
委 員	山 戸 章 弘	令和 2年12月 9日就任

2. 教育委員会会議の開催状況について

教育委員会の会議においては、大洗町教育委員会事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を要する事項について審議し決定します。そのほかについては教育長にその事務を委任しています。

教育委員会の会議には定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて開催しています。令和4年度は、定例会を計12回開催しました。

教育委員会会議	開催回数	議案件数	協議件数	報告件数
定例会	12回	26件	2件	31件
臨時会	0回	0件	0件	0件

○定例会議内容

年 月	議 事 内 容
令和4年4月	【議案】 ・大洗町教育情報端末貸付要綱の一部改正について ・大洗町文化財保護審議会委員の委嘱について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について ・区域外就学届出(私立)の承認について ・寄付受け入れについて
	【その他】 ・学校閉庁日の設定について ・第23回大洗町近郊バスケットボール大会について ・第1回館長講座の開催について
令和4年5月	【議案】 ・令和4年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について ・大洗町要保護及び準要保護児童生徒就学援助事務要綱の一部を改正する要綱について ・大洗町学校運営協議会規則の制定について

	・「大洗うみ・まちコミュニティスクール」に係る学校運営協議会総合本部設置要綱の制定について ・大洗町社会教育委員の委嘱について ・大洗町公民館運営審議会委員の委嘱について ・大洗町スポーツ推進委員の委嘱について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について
令和4年6月	【報告】 ・令和4年度大洗町奨学生について ・寄付受け入れについて
	【その他】 ・令和4年度公民館講座受講者数について ・北海道洋上体験学習事業について ・海っ子・山っ子交流事業について ・第5回埋蔵文化財企画展『OARAI KOFUN EXPO'22』の開催について ・水泳教室について ・第6回ひぬま夏海マラソンの結果について ・「大洗道」相談コーナーの開設について ・「懐かしい大洗の風景～水浜電車と大洗の観光～」の開催について
令和4年7月	【議案】 ・令和5年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書について ・大洗町教育委員会評価委員の委嘱について
	【報告】 ・準要保護児童生徒の新規認定について ・区域外就学申請の承諾について
	【その他】 ・大洗町近郊中学校野球大会について

令和4年8月	【議案】 ・令和4年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について
	【協議】 ・大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について
	【報告】 ・準要保護児童生徒の新規認定について ・区域外就学申請の承諾について
	【その他】 ・大洗町近郊中学校野球大会の結果について ・第5回ミュージアムコンサートの開催について
令和4年9月	【協議】 ・大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価(案)について
	【報告】 ・大洗町教育委員会委員の任命について ・準要保護児童生徒の新規認定について
	【その他】 ・第5回埋蔵文化財企画展『OARAI KOFUN EXPO`22』の実績報告について ・第9回特別展「懐かしの水浜電車と大洗の観光―開通 100 年記念―」の開催について
令和4年10月	【議案】 ・「物価高騰対策学校給食費支援事業給付金交付要綱」の制定について
	【報告】 ・準要保護児童生徒の新規認定について

	【その他】 ・教育委員学校訪問について ・令和5年大洗町二十歳(はたち)の集いについて ・青少年育成運動啓発用のぼり旗について ・大洗町芸術文化祭について ・芸術鑑賞の集いについて ・シンポジウム『文化と観光』の開催について ・第76回三浜駅伝競走大会について ・第40回大洗マラソン サンビーチ・マイルレースについて ・第5回ミュージアムコンサートの実施報告について
令和4年11月	【議案】 ・大洗町の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について ・令和4年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について ・準要保護児童生徒の新規認定について
	【その他】 ・「給食費等の学校徴収金」の徴収に係る陳情書について
令和4年12月	【議案】 ・令和4年度一般会計補正予算(教育費)関係に対する意見について ・善行青少年の審査について
	【報告】 ・指定校変更許可申請の許可について
	【その他】 ・学期制の検討について ・宝くじ文化公演 ハートフルコンサートの開催について ・文化財シンポジウム『文化と観光』の結果について

	・文化財防火デーについて ・第76回三浜駅伝競走大会結果について ・第9回特別展「懐かしの水浜電車と大洗の観光―開通 100 年記念―」の実績報告について ・第3回館長講座について
令和5年1月	【議案】 ・大洗町要保護及び準要保護児童生徒就学援助事務要綱の一部を改正する教育委員会告示について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・区域外就学届出(私立・県立・国立)の承認について ・指定校変更許可申請の許可について ・準要保護児童生徒の新規認定について
	【その他】 ・令和5年大洗町二十歳(はたち)の集いについて ・宮田遺跡発掘調査の現地説明会について
令和5年2月	【議案】 ・令和4年度大洗町一般会計補正予算(教育費関係)に対する意見について ・令和5年度大洗町一般会計予算(教育費関係)に対する意見について ・大洗町幕末と明治の博物館条例の一部を改正する条例について
	【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・区域外就学届出(私立・県立・国立)の承認について ・準要保護児童生徒の継続認定について ・準要保護児童生徒の新規認定について ・準要保護児童生徒(就学予定者)の認定について ・寄付受け入れについて
	【その他】 ・第22回大洗町生涯学習フェスティバルについて

	・大洗音楽祭2023について ・大洗マラソン サンビーチ・マイルレースの結果について ・第4回館長講座について
令和5年3月	【議案】 ・令和5年度教職員の人事異動の内申について ・大洗町教育委員会事務局処務規定の一部を改正する教育委員会規定について ・大洗町学校職員服務規程の一部を改正する教育委員会規則について ・大洗町立学校管理規則の一部を改正する教育委員会規則について ・大洗町教育委員会を実施機関とする大洗町個人情報保護条例施行規則を廃止する教育委員会規則について 【報告】 ・区域外就学申請の承諾について ・指定校変更許可申請の許可について ・寄付受け入れについて 【その他】 ・教職員定期異動辞令交付式について

3. 令和4年度教育委員会の予算・決算状況について

令和4年度教育費の当初予算額及び決算額(歳出)等については、次のとおりです。

- ・教育費の当初予算額は7億8,230万円であり、町一般会計歳出予算に占める割合は9.0%となっています。(最終予算額は9億5,644万4千円)
- ・教育費の決算額は7億4,162万7千円であり、町一般会計決算額に占める割合は7.64%となっています。教育費最終予算額に対する執行率は、77.5%です。
- ・令和4年度の町民1人あたりの教育費は46,823円です。
また、児童生徒1人あたりの教育費は、136,592円(小学校)、280,485円(中学校)です。

○ 町当初予算に占める教育費の割合の推移

(千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町予算総額	8,569,000	8,366,000	8,735,000
うち教育費	854,973	772,653	782,300
割合	10.0%	9.2%	9.0%

○ 令和4年度教育費予算額

(千円)

項	当初予算額	補正予算額	繰越額	予備費・流用	予算現額
教育総務費	371,599	143,410	2,142		517,151
小学校費	87,284	10,920		10	98,214
中学校費	96,812	11,092		△10	107,894
幼稚園費	19,013	221			19,234
社会教育費	167,064	5,012		337	172,413
保健体育費	40,528	1,010			41,538
計	782,300	171,665	2,142	347	956,444

○ 教育費決算額の推移

(千円)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
教育総務費	395,419	44.52%	277,900	36.57%	345,122	46.54%
小学校費	70,477	7.93%	77,586	10.21%	87,965	11.86%
中学校費	88,060	9.91%	85,927	11.31%	95,926	12.93%
幼稚園費	20,341	2.29%	21,347	2.81%	18,088	2.44%
社会教育費	160,580	18.08%	260,169	34.24%	161,196	21.74%
保健体育費	153,312	17.26%	36,915	4.86%	33,331	4.49%
計	888,189	100.00%	759,844	100.00%	741,628	100.00%

○ 教育費執行率の推移

(千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
予算現額	1,007,139	849,549	956,444
決算額	888,189	759,844	741,628
執行率	88.2%	89.4%	77.5%

○令和4年度 町民1人あたりの教育費

人口(R5.3.31現在) (人)	教育費決算額 (千円)	町民1人あたりの教育費 (円)
15,839	741,628	46,823

○ 令和4年度 児童生徒1人あたりの教育費(小・中学校費)

(児童生徒数:R4.5.1現在)

	児童(小学校)	生徒(中学校)	計
児童生徒数(人)	644	342	986
決 算 額(千円)	87,965	95,926	183,891
1人あたり(円)	136,592	280,485	186,502

4. 主な教育委員会の活動状況について

日 程	件 名	会 場
令和4年4月1日(金)	教職員辞令交付式	大洗町中央公民館
令和4年4月7日(木)	小学校入学式	大 洗 小 学 校
		南 小 学 校
令和4年4月8日(金)	中学校入学式	第 一 中 学 校
		南 中 学 校
令和4年4月11日(月)	幼稚園入園式	祝 町 幼 稚 園
令和4年5月18日(水)	奨学生選考審議委員会	大 洗 町 役 場
令和4年6月7日(火)	第1回教科用図書選定協議会	城 里 町
令和4年6月23日(木)	東茨城郡教育委員会連絡協議会役員会	茨 城 町
令和4年7月5日(火)	第2回教科用図書選定協議会	城 里 町
令和4年7月13日(水)	東茨城郡教育委員会連絡協議会総会及び研修会	茨 城 町
令和4年10月2日(日)	小学校運動会	大 洗 小 学 校
令和4年10月8日(土)	祝町幼稚園運動会	祝 町 幼 稚 園
令和4年10月15日(土)	中学校体育祭	南 中 学 校
令和4年10月29日(土)	小学校運動会	南 小 学 校
令和4年11月3日(木)	中学校体育祭	第 一 中 学 校
令和4年11月21日(月)	東茨城郡教育振興大会	大洗文化センター
令和4年11月23日(水)	教育実践研究発表会	南 小 学 校
		南 中 学 校
令和4年12月1日(木)	教育委員訪問	祝 町 幼 稚 園
令和4年12月8日(木)	教育委員学校訪問	南 小 学 校
		南 中 学 校

日 程	件 名	会 場
令和4年12月9日(金)	大洗町教育研究会研究発表会	第 一 中 学 校
令和4年12月21日(水)	奨学生選考審議委員会	大洗町教育センター
令和5年1月8日(日)	大洗町二十歳(はたち)の集い	アクアワールド茨城県 大 洗 水 族 館
令和5年1月17日(火)	教育委員学校訪問	大 洗 小 学 校
		第 一 中 学 校
令和5年2月24日(金)	大洗町総合教育会議	大洗町教育センター
令和5年3月13日(月)	中学校卒業式	第 一 中 学 校
		南 中 学 校
令和5年3月16日(金)	祝町幼稚園卒園式	祝 町 幼 稚 園
令和5年3月17日(金)	小学校卒業式	大 洗 小 学 校
		南 小 学 校
令和5年3月26日(日)	大洗音楽祭	大洗文化センター
令和5年3月31日(金)	教職員定期異動辞令交付式	大洗町中央公民館

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった行事

日 程	件 名
書 面 総 会	大洗町青少年育成会議総会
書 面 総 会	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会
書 面 総 会	茨城県市町村教育委員会連合会定期総会
書 面 総 会	大洗町教育研究会総会

第3 教育委員会事務事業の点検・評価シート

基本的方針	No.	事業名	担当課	ページ
豊かな人間性をつちかう 教育の推進 (徳…優しく)	1	広島平和大使派遣事業	学校教育課	15
	2	海っ子山っ子交流事業	生涯学習課	17
	3	町民会館自主文化事業 (宝くじ文化公演ハートフルコンサート)	生涯学習課	19
確かな学力の習得と 活用する力の育成(知…賢く)	4	小中学生オンライン英会話事業	学校教育課	21
健康な心と体を育てる 教育の推進 (体・情…たくましく)	5	大洗町近郊中学校野球大会	生涯学習課	23
	6	大洗マラソン サンビーチ・マイルレース事業	生涯学習課	25
学校・家庭・地域の連携	7	コミュニティ・スクール推進事業	学校教育課	27
	8	学校安全総合支援事業	学校教育課	29
	9	善行青少年ほう賞事業	生涯学習課	31
社会の変化に対応した 教育の充実	10	第9回特別展 懐かしの水浜電車と大洗の観光	生涯学習課	33
	11	考古学企画展事業	生涯学習課	35
安心して学べる質の高い 教育環境づくり	12	町立学校大型掲示装置整備事業	学校教育課	37
	13	通学路の安全対策事業	学校教育課	39

令和4年度 点検評価シート

No.1

事務事業名	大洗町平和大使派遣事業	担当課	学校教育課
-------	-------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳・・・優しく)
施策の体系	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	被爆地である広島市の平和記念式典に参列し、戦争の悲惨さを後世に伝える意義と平和を尊ぶ思いを確認するとともに、そこで学んだことを各学校及び町内に報告することで、町内の中学生が戦争や核兵器のない未来を築いていこうとする心を育む。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町立中学校第2・3学年に在籍する生徒 9名(選考による)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 毎年8月6日に行われる平和記念式典(広島市原爆死没者慰霊式)に、大洗町代表の平和大使として参列する。大使は町内の中学生を対象に募集し、作文等により9名を選考する。事前活動として、広島への原爆投下に関する調べ学習、事後活動として、平和新聞の作成や町広報紙への寄稿、報告会等を行うこととおして、町民への啓蒙を図る。 引率者:第一中・団長(松本校長)、南中(菅野教諭)、教育委員会(大場補佐)
事業の成果 (意図する成果)	事前・事後の活動、平和記念式典への参列等をおして、平和な社会を築いていこうとする態度を養う機会となる。大洗町を代表して平和記念式典に参列することにより、核兵器廃絶を世界に呼びかける広島市と大洗町との絆を深める役割を果たすことができる。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	661千円	615千円	1,100千円
	決算額(千円)	0円	0円	1,029千円
	内訳			1,029千円
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	—	—
	執行率(%)	0%	0%	93.5%

※ 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	事前活動	中止	中止	約1ヶ月間
	本学習	—	—	3日間
	事後活動	—	—	約3ヶ月間
成果指標	参加者数(代表生徒)	—	—	9名
	参加者数(引率者)	—	—	3名
効率指標	1人あたり単価	—	—	85,750円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 令和元年度までは4名の代表生徒を派遣していた。貴重な体験学習の機会になることから、4年度より9名に増員した。今後も同程度の派遣人数を維持したまま本事業を継続させたい。なお、募集開始時期を前倒して事前学習を充実させるとともに、派遣時には、生徒自身の計画によるグループ活動等を取り入れて、自主的な学習となるよう内容を工夫する。

【評価委員の意見】

○平和教育としてとても大切な事業だと思います。令和4年度には4名から9名に派遣人数を増やしたことも大洗町が平和教育に力を入れていることを示していて素晴らしいことだと思います。現在も様々な事後活動をとおして町民の啓発を行っているようですが、今後もさらに町全体にこの事業を還元する工夫を続けていただけたらと思います。 ○平和学習はこれからの世界や日本を担う子ども達にとって重要な学びと考える。これからは是非できるだけ多くの生徒にチャンスにあたえていただきたい。県内の他市町村の中学生との交流はもちろん、例えば広島県の中学生との交流などを企画していただき、参加者はもちろん町全体の子供達が、視野を広げられるような発展的な平和学習になるように継続していてもらいたい。オンラインなどによる交流の可能性もあるので、振り返りの学習の効果も期待したい。
--

令和4年度 点検評価シート

No.2

事務事業名	海っ子山っ子交流事業	担当課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
施策の体系	施策	3	就学前教育・学校教育の充実
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	那珂川でつながる大洗町・茂木町の、豊かな自然を活かした野外活動や集団生活を通して、社会性や自主性を培う。また、両町の子どもたちとの交流を通して、他人への理解と思いやりを深めることにより、青少年の健全育成を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町・茂木町の小学5・6年生の希望者(募集人数各20名)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 ■ その他(茂木町教育委員会、高校生会) ・地域の特徴を活かした体験活動(大洗町-ライフセービング体験・漁業体験、茂木町-花の山ハイキング・コースターづくり・やな場見学) ・8月18日(木)-山っ子体験(茂木町) ・8月19日(金)-海っ子体験(大洗町)
事業の成果 (意図する成果)	豊かな自然を活かした野外活動や集団生活を通して協調性や自主性を培い、また、両町の参加者が自らの故郷を教え合うことにより再発見し、郷土に対する誇りと愛着を育む。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
事業費	予算額(千円)	400千円	400千円	460千円	
	決算額(千円)	0千円	0千円	460千円	
	内訳	一般財源	—	—	—
		国県補助金	—	—	—
		その他	—	—	460千円
執行率(%)		0%	0%	100%	

※ 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	活動日数	中止	中止	2日間(日帰り)
	特色ある地域の活用	—	—	5体験
成果指標	参加者数	—	—	31名
	うち大洗町参加者	—	—	15名
効率指標	1人あたり単価	—	—	23,666円

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		参加者にとって県外の児童との交流や集団生活、自然体験と普段味わえない体験を町単独で実施する事業に比べ、より効果的に実施することができ、貴重な学習機会となっている。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		大洗の魅力を再発見する海の体験や、大洗では味わえない山の体験など地域の特色を活かした体験活動をととして両町の児童の交流を図ることができ、コミュニケーション能力の育成につながっている。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		両町の強みを持った海・山の体験活動をそれぞれが担当し実施している。また、高校生会がサポートとして運営に協力することで効率的に事業の展開ができています。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☐	現状のまま継続	⇒	お互いの県で宿泊を伴う事業ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により日帰りでの実施となった。今後は、以前のように宿泊を伴う体験交流をし、那珂川でつながる両町の特性をより生かせるような事業を展開していきたい。
☒	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○大洗町において豊かな自然に触れることは郷土教育の意味合いをもちます。また茂木町との交流をととして協調性を育みながら大洗町のことを知っていくという意味をもつ本事業は非常に高く評価できる事業だと思います。また高校生会の支援を受けていることもこの活動の意味をより高めています。宿泊をとまうことにも意味があるかと思いますが、令和5年度から宿泊学習に戻ったということなので、ホッとしました。 ○学校の職員の負担を軽減するためにも高校生会を活用しているところはとても良いと考える。高校生会にとっても活動の意義を感じるだろう。今後宿泊が続けられるようになり、活動内容も広がれば、大洗町認定「海っこマイスター」といった資格をあたえるなどユニークな試みをするのも楽しいと思う。
--

令和4年度 点検評価シート

No.3

事務事業名	町民会館自主文化事業(宝くじ文化公演ハートフルコンサート)	担当課	生涯学習課
-------	-------------------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	1	豊かな人間性をつちかう教育の推進(徳…優しく)
施策の体系	施策	4	優れた芸術や文化に触れる機会の設定
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	町民が様々な文化に触れ親しみ、鑑賞する機会を設け、大洗町の文化振興と地域の活性化を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	茨城県内に在住する方のみ (自治総合センターの通知より新型コロナウイルス感染症対策のため)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 令和5年1月14日(土曜日)に実施する。本事業は、(一財)自治総合センターによる「宝くじの社会貢献広報事業」により宝くじの助成による事業となっている。また、事業要件により県内市町村で同一内容の公演を実施することになっており、今回は大洗町と小美玉市とのコンサート開催となっている。また、料金は前売券が2,000円、当日券が2,500円となっている。チケット販売は生涯学習課窓口にて販売し、電話や電子メールの対応を行う。
事業の成果 (意図する成果)	大洗町民をはじめ多くの来場者に、夏川りみさんと秋川雅史さんの歌唱力とN響団友オーケストラ演奏を体感していただき、安価で質の高いコンサートを提供を図る。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	—	1,171千円
	決算額(千円)	—	—	145千円
	内訳			145千円
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	—	—
	執行率(%)	—	—	12.4%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	出演者	—	—	18名
成果指標	収容率	—	—	89.2%
	チケット販売数	—	—	670枚
	座席数	—	—	751席
効率指標	来場者1人あたりの経費	—	—	217円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 宝くじ文化公演の採択条件が、県内2市町村等で行う同一内容の公演の実施等の要件があり、採択されるのは非常に困難であるが、費用対効果が非常に高い事業である。そのため、魅力的な公演があれば県内の市町村と協力しながら、今後も宝くじ文化公演事業に応募していき、町民が様々な文化に触れ親しみ、鑑賞する機会を設け、大洗町の文化振興と地域の活性化を図る。

【評価委員の意見】

○宝くじ文化公演に採択されたということで、コスト面を含めて素敵な事業が実現したと思います。毎年行うことは難しいでしょうが、今後も応募は続けていただけたらと思います。 ○低コストで実施できる事業であるが、継続性としては難しいだろうが同じような低コストで実施できる事業のサーチをしてほしい。収容率8割は評価できる。広報にも力を入れてほしい。
--

令和4年度 点検評価シート

No.4

事務事業名	小中学生オンライン英会話実施事業	担当課	学校教育課
-------	------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	2	確かな学力の習得と活用する力の育成(知…賢く)
	施策	1	確かな学力の習得と活用する力の育成
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	令和4年7月13日に本町がフィリピン共和国ラプラプ市と姉妹都市締結を結んだことが契機となり、本町の英語教育のさらなる充実を目的に、小中学生がフィリピン共和国の英語講師とオンラインによるマンツーマン英会話を実施する。		
事業の対象 (誰を・何を)	・町立小学校に通う6年生の児童 120名 ・町立中学校に通う1年生の生徒 110名		
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 学校のスケジュールに合わせて各クラスごとにレッスンの予定を組み込み、通常の英語の授業中に教科書の内容に沿った30分のレッスンを行う。使用媒体は、GIGAスクール構想に伴い1人1台支給しているタブレット端末であり、その他に必要なヘッドセットについては保護者負担として実施する。		
事業の成果 (意図する成果)	英語の授業が本格化する初期段階の小学校高学年～中学生の時に、英語の理解度や習熟度が高いフィリピンの英語講師とマンツーマンでレッスンを行うことで、英語への関心を高めることや、基礎力・実践力の両方を養うことができる。		

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	—	2,277千円
	決算額(千円)	—	—	2,275千円
	内訳	一般財源	—	2,275千円
		国県補助金	—	—
		その他	—	—
	執行率(%)	—	—	99.9%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	予定実施回数(延べ)	—	—	80回 ※11月～3月
	実施回数(延べ)	—	—	78回 ※11月～3月
	実施率	—	—	97.5%
成果指標	英検取得率(参考指標)	—	17.1%	20.6%
	(中学1～3年生のうち3級以上)			
効率指標	委託料	—	—	1回 990円/1人

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☒ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 年度途中から開始した新事業であるが、各学校や委託会社と調整を重ねた結果、4校揃って一斉に実施することができた。今後の成果指標については、児童生徒に、オンライン授業に対する満足度や、英語への関心度が測れるようなアンケートを実施していきたいと考える。また、英語教育のさらなる充実のため、今後は対象学年を拡大していきたい。

【評価委員の意見】

○これからの時代において英語に親しむことが重要な意味をもつなかで、こうした事業は有効だと思いました。子どもたちも楽しく活動しているようで、英語への意欲や関心が増していくのではないかと思います。 ○姉妹都市締結を有効活用し、結果的に子ども達の英会話に対する興味関心やコミュニケーション能力を高めることができた。実施率も97.5%と非常に高く、英会話が上達するためには継続性が重要であることから本事業の有効性が評価される。さらに、学んだ成果により、学生が大型クルーズ船の外国客に本町の案内を英語で行う企画など生きた活動につながっていることが大変評価される。
--

令和4年度 点検評価シート

No.5

事務事業名	大洗町近郊中学校野球大会	担当課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情…たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校体育活動の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	野球を通してアマチュアスポーツ・フェアプレイ精神の育成を図る。また、中学生の体力・技能の向上に努め、心身ともに健全な人づくりと中学校相互の友情を深める。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町教育委員会及び大洗野球連盟が選定した大洗町近郊の公立中学校
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ・8月に大洗町近郊の中学校を招き、野球大会を開催している。主催は大洗町・大洗町教育委員会で、大洗野球連盟の協力を得て開催する。 ・チーム数については、新型コロナウイルス感染症対策を講じることや、熱中症予防の観点から、午前中2試合とし、計4チームとする。
事業の成果 (意図する成果)	試合経験の浅い1、2年生に貴重な実戦経験の場を提供し、選手自身の成長とチーム力の向上を図る。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	534千円	549千円	272千円
	決算額(千円)	0千円	68千円	93千円
	内訳			
	一般財源	—	68千円	93千円
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	—	—
執行率(%)		0%	12.4%	34.2%

※ 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	参加チーム数	中止	中止	4チーム
成果指標	町内中学校順位	—	—	第3位
効率指標	決算額／チーム数	—	—	23,250円

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		夏休み期間中恒例の大会として定着しており、野球連盟審判員による試合進行など質の高い大会運営が行われており、妥当性は非常に高い。以前は、入場行進や開会式を行っていたが、新型コロナウイルス感染対策や熱中症予防の観点から令和4年度は、行っていない。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		1, 2年生チームになって間もない時期であり、参加各チーム及び選手のモチベーションは高い。緊迫した試合を通じて、選手たちのプレーの質が上がり、自信を深める様子がうかがえ、心身共に成長がみられるため、有効性は非常に高い。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		大洗町総合運動公園野球場及び多目的広場を会場に、審判派遣など大洗野球連盟からの全面的な協力が得られるため、費用の負担は押さえられており、効率性は高いと言える。令和4年度については、茨城トヨペットよりノベルティ等をいただき参加チームに配布を行った。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続	⇒	1, 2年生チームになって間もない時期であり、新人戦に向けた貴重な試合機会となる。そのため、試合を通じて、選手のプレー向上や、自信を深めることが出来ることから、今後も継続していくべきと考える。
☐ 改善のうえ継続		
☐ 事業を拡大		
☐ 事業を縮小		
☐ 休廃止を検討		
☐ 事業完了		

【評価委員の意見】

○事業としてはとても素晴らしいと思います。直接事業とはかかわりませんが、部活の地域移行へとつなげていただけたらと思います。たしかに人材(指導者)を見つけることは難しいでしょうし、また教師が入ることで活動がスムーズになることは理解できますが、町独自では難しくても県への要望等を含め、早期に地域移行が実現したらいいなと思います。 ○町内で一校一チームがなかなかかなわない現状ではあるが、町民の中で野球は大変愛されている競技である。町が対抗試合などを企画支援することは、学校としても野球を愛する生徒にとっても大変ありがたいのではと考える。様々な意見に耳を傾けながらこれからを担う若い子ども達のスポーツを愛する気持ちややる気を応援していったらいい。
--

令和4年度 点検評価シート

No.6

事務事業名	大洗マラソン サンビーチ・マイルレース	担当課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	3	健康な心と体を育てる教育の推進(体・情…たくましく)
	施策	2	体力の向上と学校体育活動の推進
根拠法令等			

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	サンビーチ海岸を利用した、大洗ならではのマラソン大会を通して、青少年の健全育成及び幅広い年代の町民のスポーツ振興・健康づくりを推進する。また、県内、県外から参加者を積極的に受け入れ、町の賑わいづくり、スポーツ振興に寄与する。
事業の対象 (誰を・何を)	子どもから大人まで幅広い世代を対象とする。(全15部門) 親子の部(1年生以下・小学2・3年生)、小学生の部(小学4・5・6年男女別)、中学生の部(男女別)、高校生の部(男女別)、一般の部(男女別)、壮年の部(40歳以上)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 大洗海浜公園内とサンビーチの防潮堤にコースを設け、親子の部から壮年の部まで計15部門を設定し、マラソン大会を開催する。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を講じながら3年ぶりに開催する。令和4年度からは、申し込みをWeb受付にし、計測については、ICチップを使った自動計測システムの導入を行う。また、受益者負担の考え方により、参加費の徴収を行う。(大人1,000円、子ども500円)参加者の募集については、町内学校や周辺自治体への広報、町ホームページや町SNS、広報誌への掲載等を行う。スポーツ推進委員・体育協会会員等、ボランティアスタッフの協力を得て、係員を配置する。
事業の成果 (意図する成果)	・青少年の健全育成(小中高校生の参加により心身の向上を図る) ・生涯スポーツの振興(親子の部から壮年の部まで幅広く部門を設定し、参加しやすく親しまれる大会とする) ・地域の活性化(大洗ならではの大会を町外の方にも体験していただき観光的側面のPRを図る)

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	896千円	4,119千円	5,150千円
	決算額(千円)	0千円	0千円	3,373千円
	内訳	一般財源	—	1,099千円
		国県補助金	—	—
		その他	—	2,274千円
	執行率(%)	0%	0%	65.5%

※ 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	申込件数	中止	中止	482件
成果指標	小中高校生の参加実績	—	—	103人
	親子の部の参加実績	—	—	123組
	一般・壮年の部の参加実績	—	—	184人
効率指標	1人あたり単価	—	—	2,681円
	(一般財源/参加件数)			

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 青少年健全育成、スポーツ振興及び地域の活性化に繋がる事業として、今後も継続して行うべき事業と考える。コースもそうであるが、大洗らしさを感じられるマラソン大会を継続していきたい。

【評価委員の意見】

○町民のスポーツ振興のみではなく、観光という視点からもさらに充実させてほしい事業です。すでに観光的側面についてもPRを図っているようですが、町を知ってもらったり、町の活性化につながるような広報についてさらに検討を進めていただけたらと思います。 ○ラインやツイッターなどを活用し気軽に参加できる体制を整えていくことが継続できるポイントになると考える。大洗町の活性化のためにも大切な事業であるとする。コロナ禍も収まり、様々な地区で同じような企画が展開されているが海岸を走る楽しさや良さをアピールしていただきたい。
--

令和4年度 点検評価シート

No.7

事務事業名	コミュニティ・スクール推進事業	担当課	学校教育課
-------	-----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	4	学校・家庭・地域の連携
	施策	1	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律【コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)に関する法改正】 「大洗うみ・まちコミュニティスクール」に係る学校運営協議会総合本部設置要綱、大洗町学校運営協議会規則		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動推進のために、学校運営協議会を設置し、社会総掛かりで持続可能な教育体制の構築を図る。
事業の対象 (誰を・何を)	町内各小中学校
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 □ 町 □ 委託 □ 補助金 ■ その他(町及び学校) 第一中・大洗小学区を北エリア、南中・南小学区を南エリアとし、エリアごとに学校運営協議会を設置した。また、町全体でコミュニティ・スクールを推進するために、各エリアの代表者からなる学校運営協議会(総合本部)を設置した。また、特色ある学校づくりの一環として、学校と地域が連携・協働した海洋リテラシー教育とSTEAM教育を推進する。
事業の成果 (意図する成果)	学校・家庭・地域で目指す子ども像などのビジョンを共有し、連携・協働した教育活動に取り組むことで、持続可能な教育体制の構築及び子どもたちの豊かな心の育成を図る。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	—	194千円
	決算額(千円)	—	—	79千円
	内訳			
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	—	—
	執行率(%)	—	—	40.7%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	学校運営協議会(総合本部)	—	—	2回
	学校運営協議会(北エリア)	—	—	2回
	学校運営協議会(北エリア)	—	—	2回
成果指標	総合本部:出席者数(2回合計)	—	—	30名
	北エリア:出席者数(2回合計)	—	—	30名
	南エリア:出席者数(2回合計)	—	—	38名
効率指標	委員謝金(総合本部)	—	—	2,000円/1人
	委員謝金(北・南エリア)	—	—	1,000円/1人

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		小中学校の9年間を見通した子ども像を共有して、学校、家庭、地域が連携できることから、中学校区ごとに学校運営協議会を設置したことは、妥当であると考えられる。また、町全体で事業を推進していくことができるということからも、総合本部を設置したことは妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		学校運営協議委員会では、「郷土を愛し、新しい時代にチャレンジできる大洗っ子」を育成することを共通理解できた。また、海洋リテラシー教育とSTEAM教育について、アクアワールドや大洗海の大学、東京海洋大学や茨城高専と連携した体験活動では、多くの児童生徒が意欲的に取り組むことができたことから成果が上がっていると捉えることができる。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		学校運営協議会委員への謝金等が必要となるが、社会総掛かりで子どもたちを育成し、持続可能な教育環境を構築したり、委員一人一人が当事者意識をもって学校運営について考えたりできることから、効率的であるといえる。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☐ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☒ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 学校・家庭・地域がより一層連携できるよう、学校運営協議会の回数を増やしていく。また、学校運営協議会の結果を踏まえた教育活動が各エリアで展開できるよう、教育委員会として支援していく。

【評価委員の意見】

○大洗町らしさを生かした海洋リテラシー教育とSTEAM教育を柱にコミュニティ・スクールを展開する事業は、非常に特徴的な事業といえることができるように思います。ここにいたるまでには教育委員会の大変なご苦労があったのではないかと思います。全国的に学校運営協議会が設置されコミュニティ・スクールが推進される時代において、どうしても形だけのコミュニティ・スクールが作られ、教師・学校の負担ばかりが増えていくということになりかねない状況があります。本事業はもともと大洗町がもっていた資源を活用しながら、進めている点で好感がもてますが、この先教育委員会の手を離れた時に、学校に過度の負担がかからないような工夫をお願いできたらと思います。 ○事業の運営に当たっては、「実」のある成果が大切であると考えます。さらに、学校側の負担をなるべく軽減できるようにしたい。学校運営協議委員会で大洗の子ども達の目指す姿を共有できたことはまず前進と考える。海洋リテラシー教育やSTEAM教育を柱として進めて行くことは町の特徴や学校の研究課題と重なり無理がないと評価できる。実際に学校に関わる方の中に、運営委員の方々も含まれるということで、今後の実践に期待が持てる。しかし、大洗町の規模と照らして組織全体が大きくなりすぎないように、学校側も委員会側も無理なく取り組めるようにしていただいたい。
--

令和4年度 点検評価シート

No.8

事務事業名	学校安全総合支援事業	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	4	学校・家庭・地域の連携
施策の体系	施策	1	学校・家庭・地域が連携した教育の推進
根拠法令等	学校安全総合支援事業(文部科学省委託事業)		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	児童・生徒の防災意識の向上及び教職員のスキルアップを図ることを目的とする。
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町内幼稚園、小中学校、高等学校、家庭、地域
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ①第一中・大洗小、南中・南小のそれぞれにおいて、茨城大学や水戸地方気象台、JAEAや大洗町生活環境課と連携して、合同防災教室を実施。②中核教員研修会では、各校の学校安全計画等の見直しや専門家による講話等を実施。③上記の関係機関と連携し、大洗町防災ハンドブックを作成し、町内幼稚園、小中学校、高等学校へ配布する。また、ハンドブックを活用した授業を各校で実施。
事業の成果 (意図する成果)	様々な外部機関等と連携した防災教育活動を通して、町内園児、児童、生徒の防災意識の向上を図ることができる。また、中核教員研修会などの研修会を実施することで、教職員のスキルアップにもつながり、町内全体で防災教育の推進が図れる。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	—	1,012千円
	決算額(千円)	—	—	638千円
	内訳			
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	638千円
	その他	—	—	—
	執行率(%)	—	—	63.0%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	小中合同防災教室	—	—	2回 (①第一中・大洗小②南中・南小)
	中核教員研修会	—	—	2回
	大洗町防災ハンドブックの作成	—	—	1,900枚
成果指標	小中合同防災教室参加人数(合計)	—	—	約800名
	中核教員研修会参加人数(合計)	—	—	約30名
	大洗町防災ハンドブックの配付	—	—	1,900枚 町内幼稚園、小中学校、高等学校 他
効率指標	1回あたりの実践委員謝金	—	—	5,000円/1人
	小中合同防災教室	—	—	2,818円/1人
	大洗町防災ハンドブック印刷費	—	—	65円/1人

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		子どもたちの防災意識の向上や教職員のスキルアップのためには、様々な関係機関と連携した体験活動を実施したり、中核教員研修会を実施したりしたことは、とても効果的であった。このことについて、学校だけで実施していくは難しく、教育委員会が主体となって実施することが妥当であると判断できる。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		小中合同防災教室での非常食体験やテント設営体験などの様々な活動を通して、防災について考えるきっかけができた、各校の安全計画の見直しをして、今後の教育活動に反映したりしたこと、意図した成果が上がっていると判断できる。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		防災ハンドブックの印刷やオンライン語り部、非常食体験による経費がかかったが、児童生徒が防災について様々な体験をしたり、自分たちの生活に生かしたりすることで防災意識を向上させることができた。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
☐	現状のまま継続
☐	改善のうえ継続
☐	事業を拡大
☐	事業を縮小
☐	休廃止を検討
☒	事業完了

⇒

今後の展望、改善案、廃止・休止案等
事業は終了したが、今後とも防災教育に取り組み、児童生徒の防災意識の更なる向上や教職員のスキルアップに努める。

【評価委員の意見】

○文部科学省の委託を受けた事業であり、令和4年度で完了ということですが、この委託事業を今後生かして、これからも防災教育に力を入れていただけたらと思います。QRコード付きのハンドブックの作成は素晴らしい成果ですが、今後もこのハンドブックが町民の手元におかれ続けるような方法も考えていただけたらと思います。 ○作成したハンドブックはホームページ上で公開され、今後もデーターが更新されながら常に新しい防災ハンドブックとして検索できるということで大変有効な事業であったと考える。原子力関係施設や、消防等互いに連携して互いにバージョンアップしていくことが重要であると考えます。

令和4年度 点検評価シート

No.9

事務事業名	善行青少年ほう賞事業	担当課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画	基本的方向	4	学校・家庭・地域の連携
施策の体系	施策	3	地域における青少年の健全育成活動の推進
根拠法令等	大洗町青少年のよい行いをたたえる規則		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	学校や地域で日ごろから善行、奉仕活動を積み重ねている児童生徒を表彰し光をあて、善意や親切心を伸ばし、人を思いやる心を持つ、地域の未来を担う青少年を育成する。
事業の対象 (誰を・何を)	青少年(小学生から18歳未満)
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 小中学校長、高等学校、交番所長及び公共的団体の長などに、日頃から善行に努めている児童生徒の推薦について依頼し、推薦された児童生徒を教育委員会で審査し、町長が善行青少年を決定する。
事業の成果 (意図する成果)	地域社会に貢献する行い、善行青少年の「善い行い」を積極的に取り上げ、これをほめたたえることにより、善行が報われる喜びが将来への糧となればとの願いを込めており、青少年健全育成活動の一助となっている。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	61千円	59千円	59千円
	決算額(千円)	59千円	31千円	53千円
	内訳			
	一般財源	59千円	31千円	53千円
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	—	—
執行率(%)		96.7%	52.5%	89.8%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	推薦(個人)	30名	16名	24名
	推薦(団体)	1団体	—	1団体
成果指標	善行賞(個人)	30名	16名	22名
	感謝状(団体)	1団体	—	1団体
効率指標	1人あたりの経費(個人)	1,903円	1,903円	2,304円
	1人あたりの経費(団体)	1,403円	—	1,804円

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		学校内や家庭での善い行い以外にも、学校外や地域での善い行いも見受けられており、学校長のほかにも地域の公的団体の長に依頼をし、地域の善い行いをしている青少年の推薦をいただくようお願いをすることで、幅広く善い行いを拾い上げることができている。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		善行賞の授与は、善行青少年のこれまでの生活や行動における「善い行い」を認めるものであり、青少年の健全育成に繋がっている。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		個人には賞状と記念品(図書券500円)を贈り、団体には賞状を贈っている。報償費のみの支出でありコスト面からみても効率的である。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☒	現状のまま継続	⇒ 青少年の善意や親切心を伸ばしてゆくために、継続して善行青少年ほう賞事業を実施していく。	
☐	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○なかなか難しいことですが、子どもたちの成長を見守る地域の形成ということでは、何とか学校からの情報のみに頼ることなく、より実質的な事業にしていただけたらと思います。そのためには、こうした事業を知らしめ、子どもたちを温かい目で見ようとする雰囲気地域に形成することも必要なと思います。

○毎年、同じような内容になってしまったり、急に呼びかけて情報を集めたりする場面があるのではないかと。「善い行い」については学校側にも児童生徒への心の耕しなど事前の関わりが大切であると考えています。

令和4年度 点検評価シート

No.10

事務事業名	第9回特別展 懐かしの水浜電車と大洗の観光	担当課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	博物館法、大洗町幕末と明治の博物館条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	令和4(2022)年は水浜電車が水戸の浜田から大洗町の磯浜まで開通して100年にあたる。昭和41(1966)年に廃線になったが、観光地大洗の発展に寄与した。水浜電車と大洗の観光の歴史を振り返るとともに、水浜電車に関わる資料や当時の大洗の風景を物語る資料を紹介する。
事業の対象 (誰を・何を)	観光客、地域住民に対し、令和4年10月8日から11月23日の会期で実施
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ・写真や実際に使われた切符、観光案内などを展示 ・スイッチで動く水浜電車の小型模型の展示 ・近代産業遺産の研究者を招いた講演会の開催 ・町内の軌道跡を歩いてたどるイベントを2回開催
事業の成果 (意図する成果)	・観光地大洗の発展に寄与した水浜電車や昔の大洗町の様子について知ることができる。 ・研究者の講演会に参加することで、水浜電車に対する理解を深めることができる。 ・町内を走っていた軌道跡をたどることで、展示に対する理解を深めることができる。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	2,327千円	2,185千円	2,835千円
	決算額(千円)	0千円	1,786千円	2,390千円
	内訳			
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	—
	その他	—	1,786千円	2,389千円
執行率(%)		0%	81.7%	84.3%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	会期日数	—	46日間	47日間
	関連講演会(ギャラリートーク)	—	1回	1回
成果指標	会期中の入館者数(全体)	—	1,715人	2,860人
	うち町民の入館者数	—	120人	501人
	会期中1日当たりの入場者数	—	37.2人	60.8人
効率指標	来館者1人当たりの経費	—	1,041円	835円

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	B	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 地域や収蔵品にちなんだ展示会を来年度も継続して実施する。 令和5年度は水戸藩士藤田東湖に関する企画展を開催する予定。

【評価委員の意見】

○ 口コミで情報が広がることにより、もっとも町民の入館者が多い展示会になったということで、町民の心に訴える事業だったのではないかと思います。町民の郷土愛を育むことにも一役買ったのではないのでしょうか。今後も、町民に訴える展示、あるいは町外の観光客をひきつける展示といった視点で工夫をしていただけたらと思います。

○ 借用に費用がかかったことは仕方がない考える。参加型の企画として面白い。廃線電車などノスタルジーを感じる昭和世代も多いと思うので、今後映像などもあれば隔年でもいいので企画をしていてもらいたい。

令和4年度 点検評価シート

No.11

事務事業名	考古学企画展事業	担当課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	5	社会の変化に対応した教育の充実
	施策	3	伝統や文化を尊重し国際性を育む教育の推進
根拠法令等	文化財保護法、町文化財保護条例		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	地域の資源を活用しながら、わが国の歴史文化に対する理解を深める学習を推進する。ふるさとに誇りがもてるよう、ふるさと大洗の歴史や風土などに関する教育を充実する。
事業の対象 (誰を・何を)	町内児童生徒、町民、県内外の考古学ファン・研究者・専攻大学生など
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() ・令和4年7月14日～8月30日の休館の水曜日を除く43日間、町幕末と明治の博物館第3展示室を会場として、考古学系の企画展【OARAI KOFUN EXPO'22】を開催した。町外一般500円、町民無料。展示内容は、町内祝町から成田町まで分布する全28基の古墳・横穴墓について、解説パネルと出土遺物を観覧し、大洗町の古墳の地域的な特徴を明らかにした。合わせて、古墳グッズの開発・販売、茨城県内古墳をめぐるバスツアー、展示解説、ミニ古墳を作るワークショップなどを開催した。
事業の成果 (意図する成果)	・磯浜古墳群(姫塚古墳・日下ヶ塚古墳・車塚古墳)を含む大洗町内古墳の周知。これまで存在を知らなかった古墳等について、事業を通してその価値を知ることにより、今後、保存管理し、大切な地域の宝として未来に継承する必要がある。またヤマト王権を中心とする教科書から学ぶ古墳時代の中央史ばかりではなく、地域の古墳等から紡ぐ、教科書には書かれない同じ時代の大洗地域史を知ることが大切である。引いては地域に誇りを持ち、グローバルな舞台で活躍する人材の基盤を形成することになる。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	3,800千円	3,600千円
	決算額(千円)	—	3,793千円	3,479千円
	内訳	一般財源	1,897千円	3,479千円
		国県補助金	1,896千円	—
		その他	—	—
	執行率(%)	—	99.8%	96.6%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	企画展日数	中止	47日	43日
成果指標	参加者数	—	1,865人(100%)	2,633人(100%)
	うち町民	—	533人(28.6%)	580人(22.0%)
	うち町民以外の県民	—	618人(33.1%)	775人(29.4%)
	うち県外	—	714人(38.3%)	1,278人(48.6%)
効率指標				

【自己評価】

評価項目		評価結果		
妥当性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である	C. 妥当でない
		古墳などの史跡の公開活用事業は、全国的にみても、教育委員会の文化財部局が所管しており、文化庁による文化財関係の補助金を得て実施する、現在の体制でのぞむのが妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている	C. 上がっていない
		学校教育課指導室や大洗小学校・南小学校両校と連携して、小学6年生児童を対象とした、古墳や埴輪を利用した体験的なリモート授業を実施した。今回の企画展については、広く周知を図り、町内は勿論のこと、県内外からの多くの観覧者があり、ふるさと大洗の歴史に関する教育を充実させることができた。		
効率性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である	C. 効率的でない
		町高校生会や考古学を専攻する茨城大学人文社会科学部の学生、郷土史に意識の高い町民らと協力して企画展運営を行い、効率性を高めることができた。 会期終了後もデジタルツイン技術により、仮想空間に企画展示室、展示品が再現されており、遠隔地においてに追体験ができるようになっている。		

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)		今後の展望、改善案、廃止・休止案等	
☒	現状のまま継続	⇒	大洗地域を紹介、理解する機会として、毎年夏、町幕末と明治の博物館を会場として、テーマを変えながら、企画展を継続していきたい。
☐	改善のうえ継続		
☐	事業を拡大		
☐	事業を縮小		
☐	休廃止を検討		
☐	事業完了		

【評価委員の意見】

○町民や町内児童生徒の郷土愛を育む事業として素敵な事業だと思います。また小学校の児童に楽しい体験的な授業を行ったことも郷土教育として評価できる点だと思います。

○デジタルツイン技術、仮想空間のによる再現など、工夫した試みがなされている。
成果指標の県外の参加者数が約半数を占めるのは体験的リモート事業としての数値と考えるが、成果として大変評価される。

令和4年度 点検評価シート

No.12

事務事業名	町立学校大型提示装置整備事業	担当課	学校教育課
-------	----------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
	施策	2	学校施設の整備と学校の組織運営の改善
根拠法令等	学校におけるICT環境の整備方針に基づく教育のICT化に向けた環境整備計画(文部科学省)及びGIGAスクール構想		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	国のGIGAスクール構想に基づき導入した端末等を活用することとともに、新型コロナウイルス禍においても小中学校におけるソーシャルディスタンスを確保した学習や遠隔授業を円滑に行い、感染リスクを最小限にし、児童生徒の学びを保障し十分な教育活動を継続することを可能とする。		
事業の対象 (誰を・何を)	大洗町立小中学校(4校) ※令和4年度実績		
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ■ 町 □ 委託 □ 補助金 □ その他() 必要な物品(電子黒板、大型モニターなど)を調達するために、各学校へヒアリングを行い、必要物品や台数の確認調査を実施し、調達した。また、導入後は教員向けに研修会を実施し、円滑に授業等へ導入・活用できるように進めた。		
事業の成果 (意図する成果)	電子黒板等を導入することによる効果 ①授業の効率化 電子黒板に教科書などの教材データを映し出し、直接書き込むことで板書にかけていた時間を削減でき、より密度の濃い授業が可能である。 ②学習意欲の向上 電子黒板は生徒たちの視線を集めやすく、ボード上に投影した画像を拡大表示したり、強調したいポイントに色付きマーカーでチェックしたりすることで、生徒の視覚に訴えた授業が可能である。先生の説明に興味を惹かれ、集中することで、子どもたちの学習意欲の向上につながる。また、GIGA端末を同時に活用することで更に効果的な授業が可能である。		

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	—	—	11,229千円
	決算額(千円)	—	—	9,401千円
	内訳			
	一般財源	—	—	—
	国県補助金	—	—	9,401千円
	その他	—	—	—
	執行率(%)	—	—	83.7%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	利用時間数(小学校)	—	—	7.3時間/1日あたり
	1日当たり(2校の週合計/5日/2校)			(※1校あたり)
	利用時間数(中学校)	—	—	6.2時間/1日あたり
	1日当たり(2校の週合計/5日/2校)			(※1校あたり)
成果指標	授業の効率化	—	—	1/3削減
	(板書に要する削減時間)			
	設置台数	—	—	29
	電子黒板・大型モニター・プロジェクター			(電:14/モ:14/プ:1)
効率指標	生徒1人当たりの経費	—	—	9,505円
	(決算額/生徒数)			(9401,000円/989人)

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	
☒	現状のまま継続
☐	改善のうえ継続
☐	事業を拡大
☐	事業を縮小
☐	休廃止を検討
☐	事業完了

⇒

今後の展望、改善案、廃止・休止案等
ICT機器を活用することで、個別的な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的、対話的で深い学びの実現につながるものとして今後も期待できる。 そのため、令和4年度以降も引き続き事業を継続していくために、各学校とのヒアリングを実施し、今後の児童生徒数の減少を見据え、過大調達にならないよう電子黒板等の必要物品や台数を精査し、整備目標完了までの事業を継続していく。

【評価委員の意見】

○ICT機器の活用の際、とくに対話的な学びや学びの視覚化等にとって大型モニターの活用価値は高く、必要な事業だと思います。今後さらに対面的な学びの長所にも目を向けつつ、どのようなICT機器が求められるのかを検討していただけたらと思います。 ○学校における授業や活動を視聴覚的にサポートする装置、機器として大変有用であると考え。活用時間が一日平均7、3時間(中学校)、6、2時間(小学校)と活用されていることは、一部の先生のみが使用するのではなく、教師自体のIT機器に対するスキルアップの成果であり、児童生徒への学習効果が期待され、評価される。危惧する点は、最初はよく活用するが、次第に使用頻度が低くなるといった傾向があることだ。今後も、どのように活用されているか、定期的な調査などを続けることが、費用対効果につながると考える。
--

令和4年度 点検評価シート

No.13

事務事業名	通学路の安全対策事業	担当課	学校教育課
-------	------------	-----	-------

【事務事業の位置づけ】

教育振興基本計画 施策の体系	基本的方向	6	安心して学べる質の高い教育環境づくり
	施策	3	子どもの安心・安全の確保
根拠法令等	大洗町通学路交通安全プログラム		

【事務事業の概要】

事業の目的 (何のために)	児童生徒が安全に通学できるように、関係機関と連携体制を構築し策定した「大洗町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の安全を確保する。
事業の対象 (誰を・何を)	各小中学校の通学路
事業の手段 (どんなやり方で)	〈実施・運営方法〉 ☒ 町 ☐ 委託 ☐ 補助金 ☐ その他() 各学校において点検箇所(危険箇所)の抽出を行い、学校関係者、交通管理者、道路管理者等による合同点検を実施する。合同点検実施後、学校における交通安全指導や必要に応じて道路等の整備を行う。
事業の成果 (意図する成果)	合同点検で検討された対策を実施し、通学路における安全を確保する。安全確保の結果、通学路における児童生徒の事故を未然に防ぐ。

【事業費の推移】

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	予算額(千円)	100千円	100千円	100千円
	決算額(千円)	49千円	0千円	0千円
	内訳	一般財源	—	—
		国県補助金	—	—
		その他	—	—
	執行率(%)	49.0%	0%	0%

【評価の指標】

指標の種類	指標名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度
活動指標	点検実施箇所数	9箇所	16箇所	9箇所
	対策箇所数	9箇所	15箇所	9箇所
成果指標	対策完了箇所数／点検箇所数	9/9箇所(100%)	15/16箇所(94%)	9/9箇所(100%)
	登下校時における事故発生件数	2件	1件	0件
効率指標				

【自己評価】

評価項目	評価結果		
妥 当 性 (実施主体・手段等は妥当か)	A	A. 妥当である	B. 概ね妥当である
		C. 妥当でない	
成 果 (意図した成果が上がっているか)	A	A. 上がっている	B. 概ね上がっている
		C. 上がっていない	
効 率 性 (コスト面等からみて効率的であるか)	A	A. 効率的である	B. 概ね効率的である
		C. 効率的でない	

【今後の事業の方向性】

方向性(総合評価)	今後の展望、改善案、廃止・休止案等
☒ 現状のまま継続 ☐ 改善のうえ継続 ☐ 事業を拡大 ☐ 事業を縮小 ☐ 休廃止を検討 ☐ 事業完了	⇒ 本事業は、平成26年度に大洗町通学路交通安全プログラムが策定されて以降継続して行われているが、毎年複数の危険箇所が挙げられてきており、子供たちの安全を確保するためには今後とも継続すべき事業であると考え。 また、今後とも関係機関が密に連携を取り、学校や教育委員会だけでは対応しきれない範囲についても、幅広く対策を施していくことが重要であると考え。

【評価委員の意見】

○子どもたちの安全・安心にとって重要な事業であり、継続的な対策が必要な事業だと思いますので、今後も続けていただけたらと思います。

○常に新しい目線で危険箇所の洗い出しをおこなっていただきたい。
 整備に関しては即対応が必要といった場面もある。調査、点検から学校側、幼児、児童、生徒の安全のために迅速な対応へと関係機関と連携していってほしい。

第4 評価委員からの総合評価・意見

【評価委員の意見】

基本的な教育環境の維持は重要であり、No. 4、No. 8、No. 12 や No. 13 などを地道に続けることは大切な意味をもっていると思います。油断して力を抜かないことが重要なのだと思います。No. 4 などは大洗町を特徴づける事業でもあります。

と同時に大洗町に特徴的な事業、No. 1、No. 2、No. 3、No. 5、No. 6、No. 10、No. 11 などについては、今後さらに工夫をしながら、よりよい事業にしていだけたらと思います（現在も工夫はされていますが、さらに）。そして大洗は小さな町だけに小回りがきくので、小さな工夫が大きな成果に結びついていくのではないかと思います。そのさい、事業をとおして郷土愛を育むと同時に、観光へとつなげていくような視点も大切なのではないかと思いました。この点も今そうっていないということではなく、今後さらに大胆なアイデアを検討し、さらには外部の力を活用していくことも必要になっていくのではないかと思います。

地域づくりとしては、No. 7 の事業は大切だと思います。すでにコミュニティ・スクール推進事業として、大洗らしい素敵な取組を始めていますが、私は学校がこの事業を抱え込むのではなく、地域や保護者と対等な対話関係を形成することによって、展開していくといいなあとと思っています。最近社会関係資本ということが言われていますが、まさに学校と地域のつながり、学校と保護者のつながりが地域の発展にとっての力になるのではないかと考えるからです。コミュニティ・スクールがその起爆剤になってくれるといいのですが。地域づくりができてくると No. 8 の事業などもより充実したものになっていくのではないかと思います。

全体として、いつも同じことになりますが、大洗町らしさのある事業が多く、高く評価できる事業がたくさんありました。ただしいつも思うことですが、働き方改革という視点も大切だと思います。まずは教育委員会の方々の働き方改革をどう進めたらいいのか、そして学校の先生がたの働き方改革をどう進めたらいいのか、真剣に考える時期だと思います。定時に帰れる教育委員会、定時に帰れる学校、もし実現すればすごいことだと思います。どうしても新しい事業の展開ばかりに目が行きがちですし、また大洗町だけで変われる部分はそう大きくないような思えますが、是非事業の簡略化、人を増やすための予算の措置等、議員の方々も含めて考えていただけたらと思います。

【評価委員の意見】

大洗町ならではの大切にしたい事業が実施されている。特に平和大使の派遣人数の増員は大変画期的である。世界情勢を考えても、大洗町からどのような子ども達を育てていきたいのか発信している。今後もしっかり取り組んでいてもらいたい。

・様々な事業の運営にあたっては、学校現場の負担軽減を考慮していることがわかり、評価に値する。また、大洗マイルマラソンのようにスタッフに多くのボランティア人材を生かして運営しているがそうした運営の工夫も、町の持つ「互いに支え合う共存」の力を有効に生かしている。

デジタルに関する教具「電子黒板等」については、今後の児童生徒の数や、現場での活用度合いなど調査をしながら予算を決定していてもよいと考える。

大洗町の歴史的資源である古墳群について、様々な工夫をしながら、町の外への発信を試みていることは素晴らしい。整備、広報などもう少し予算を増やして、「海」だけではないもう一つの町の「魅力・うり」にしていけるといいと考える。結果的に「町を学び誇りに思う子どもたち」を育てることにつながっていくと考える。

